

地域人材ネット

道の駅を基盤とする地域経済の振興

加藤 文男 (かとう ふみお)

株式会社ちば南房総 代表取締役副社長



○ 登録者情報

所在地

千葉県南房総市

略歴

69年04月 千葉県富浦町役場採用
04年11月 観光カリスマ認定(内閣府・国土交通省・農林水産省)
07年01月 地域中小企業サポーター(経済産業省・国土交通省)
07年03月 地域活性化伝道師(内閣官房)
08年06月 地域力創造アドバイザー(総務省)
11年03月 南房総市企画部長で定年により退職
16年03月 株式会社ちば南房総 代表取締役 副社長
16年04月 クールジャパン地域プロデューサー(内閣府)
18年05月 「道の駅」アドバイザー(全国「道の駅」連絡会)
19年08月 JICAベトナム事務所特別アドバイザー

○ 道の駅を基盤とする地域経済の振興

取組の内容

1993年に当時の富浦町が開設した「道の駅とみうら枇杷倶楽部」の計画策定から経営管理まで、12年間取り組んできた。枇杷倶楽部では特産の枇杷を活用した六次産業化、観光客を誘致するシステム、情報化、文化事業を立ち上げ、運営法人の黒字経営を持続させ、「全国道の駅グランプリ2000」で最優秀賞を受賞した。道の駅を基盤として地域振興を図る取り組みは開発途上国の振興に有効なことから、タイ、ベトナム、インドネシアでの道の駅づくりを支援している。



JICAと南房総市による事業効果評価会
(ベトナム・クアンナム省)



道の駅セミナー(インドネシア・南スラベシ州
マカッサル市)

実績

「道の駅とみうら枇杷倶楽部」の実績(2019年9月末)

- ①来客数 537,889人 (内観光バス誘致台数1,659台)
- ②インターネットアクセス数 2,801,045件
- ③年間売上 485,772千円 (地域波及効果 306,250千円)
- ④雇用者数 75名(臨時社員を含む)
- ⑤インターネットアクセス数 2,801,045件

工夫した点や苦勞した点

地域の持つ特性と、地域人材とで新たな仕組みを構築し、経済活動の活性化による雇用創出を見出すようにしてきた。官が過疎地域振興のために黒字化を目指す経済活動を先導しようとしたことは、市民の理解を得ることは困難で、事業が安定し市民からの支持が得られるまでに10年近くかかってしまった。

ひとことPR

過疎地域経済の減衰は、官業と民業が収縮し間隙の拡大に表れている。間隙を埋めることで新たな雇用も生まれて来るはずである。勇気を持って半歩踏み出せば世の中の風向きが分かり、半歩階段を登れば違う風景が見える。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
○ 6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
地区防災計画	インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
避難所運営	地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	人材研修
働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
住民参加	その他
その他	

関連ホームページ

南房総いいとこどり	http://www.mboso-etoko.jp/

連絡先

メールアドレス	kato.fumio.jp[アットマーク]gmail.com	その他	
---------	--------------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。